

令和7年度指定管理業務評価シート

評価対象期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月	施設所管課	観光交流課
施設名	三朝バイオリン美術館 鳥取ヴァイオリン製作学校	指定管理料	16,450,000円
指定管理者名	株式会社みささ弦楽プロジェクト 代表取締役 岡野壮人		
指定管理期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日		
施設の概要	所在地 三朝町大字三朝199番地1 目的 本施設を適正かつ円滑に管理する。 構造 三朝町多目的展示施設建物（展示館：鉄骨造 創作館：木造） 運営方針 指定管理者の能力を活用しつつ、地域住民等に対するサービスの効果及び効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図る。		
指定管理者の主な業務	- 施設及び付属設備の維持管理、運営に関する業務 - 施設の利用の許可及び利用料の徴収に関する業務		

1. 事業評価

モニタリング項目	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
(1) 公共サービスの実施状況				
協定書、仕様書、事業計画に基づく事業が適切に行われたか	A	A	聞き取り 書類確認	協定書、事業計画の内容について、適切に実施されている
基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	A	A	聞き取り	人員配置について、適正に配置されている
業務に必要な研修や職員の育成がなされたか	B	B	聞き取り	新規雇用者に対しては入社時に研修を行っている。また、月1回ミーティングを実施している
平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	A	A	聞き取り	苦情等は特になし
利用実績に関する帳簿が作成され、適正に管理されているか	A	A	聞き取り	適切に管理されている
減免対象者は適切に減免しているか	B	B	聞き取り	身分証明書等確認し適切に処理している
地域の活性化等につながる活動等への配慮はあるか	A	A	聞き取り	温泉街でのイベントやまちゼミ、クーポン事業への参画や、地域の清掃活動への参加を行っている
満足度調査を実施し、その結果は妥当か	A	A	聞き取り 書類確認	アンケート調査を実施し、ほぼ満足の評価を得ている
利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	B	B	聞き取り	利用者からの声やアンケート調査の実施により苦情等把握し、業務改善に努めている
利用者拡大のための改善、努力がなされているか	A	A	聞き取り	ホームページやSNSを利用した情報発信の他、マスコミへの取材対応、また、バイオリン制作体験の実施により利用者拡大に努めている
(2) 施設の維持管理の実施状況				
施設の清掃、警備、衛生管理は適切に行われているか	B	B	現地確認 聞き取り	専門業者への警備委託、職員による施設の清掃や衛生管理は十分に行われている
備品、設備、施設の点検・修繕は適切に行われたか	A	A	現地確認 聞き取り	設備、備品等の点検を定期的に行い、適宜修繕等行っている
消耗品の補充が適切に行われているか	A	A	現地確認 聞き取り	不足することなく適切に行われている
再委託先の業務を適切に管理しているか	B	B	聞き取り	専門業者へ警備を委託している
点検等によって異常等が認められたとき、迅速かつ適切に処置が実施されたか	A	A	聞き取り	点検により修繕が必要な場合は速やかに行った

(3) 法令等の遵守状況				
個人情報の管理は適切に行われたか	A	A	聞き取り	個人情報の管理を適切に行っている
町税、国税、社会保険料等の滞納はないか	A	A	聞き取り	滞納なし
労働関係法規（労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法等）を遵守しているか	A	A	聞き取り	社会保険労務士に随時確認し法令遵守に努めている
設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	A	A	聞き取り 書類確認	消防設備点検等、適切に実施されている
(4) 施設運営に関する情報の公開・発信				
ホームページ等可能な媒体を利用して情報公開しているか	A	A	聞き取り 書類確認	ホームページやSNSを利用した情報発信及び情報公開を行っている
施設案内、事業開催案内等について周知広報を行っているか	B	B	聞き取り 書類確認	ホームページやSNSを利用した情報発信及び旅館組合と連携し宿泊客への広報も実施している
満足度調査結果等を公表しているか	A	A	聞き取り	アンケート調査を実施し、毎月調査結果を整理し利用者が閲覧できるようにしている
町への報告体制が確立されているか	A	B	聞き取り	適宜町へ報告を行っている
(5) 施設の経営状況				
事業収支は妥当であるか	A	B	聞き取り 書類確認	事業収支報告書にて確認
施設の運営に要する経費削減の取り組みは適切になされているか	A	A	聞き取り 書類確認	価格高騰の中、月次決算をチェックし経費削減に努めている
(6) リスク管理の状況				
基準に基づき、保安、警備業務が適切に行われているか	A	B	聞き取り	専門業者へ警備委託し、施錠など適切に管理されている
緊急体制マニュアル等は整備されているか、職員に周知されているか	B	B	聞き取り	防火管理者の研修を受け、消防署に消防計画を提出済み。R8は実地訓練に取り組むたい。

2. 指定管理者の経営状況（全般）について

指定管理者	2期連続で黒字決算となりコロナ禍での深い傷もようやく回復できる兆しが見えてきている。厳しい状況が世界で続く中、物価高や賃金上昇は今後更に厳しいものになるかもしれないがどんな時代になろうとも三朝で音楽の生み出す価値を明確な形にしていきたいと思う。鳥取ヴァイオリン製作学校の資料請求数も一定数あり、認知度も上がってきている流れでオープンキャンパスの申し込みも好調である。三朝でしかできないバイオリン職人を学べる環境はPRと宣伝とともに今後強化拡大していかなくてはならない課題である。三朝バイオリン美術館は鳥取ヴァイオリン製作学校もありという全国や他国を見ても唯一無二ではないだろうか。売上の安定化にはまだまだ課題はあるが、音楽を通して文化環境の構築ができれば他にはない付加価値が創れるはずである。数字の管理では製作部門、演奏部門、美術館部門と3つで構成している管理会計を通して現状が正確に把握できている。美術館を将来価値の最大化、三朝のシンボルを目指して来館者満足度を上げていきたい。リピーターを増やしたいと思う。感動してもらえる環境づくりを目指して引き続き経営管理を通した数字の向上と、志を目指す人材育成に繋げていきたいと強く思っている。
施設所管課	製作部門では、制作学校の入学者が昨年に比べて増えたことや、楽器調整や販売について学校の楽器整備を中心に収入を伸ばしている。 演奏・展示部門では、日頃から光熱水費や消耗品費といった固定費の見直しによる経費削減に取り組むと同時に、ホームページやSNSを活用したイベント情報や活動について情報発信を行い集客に努めている。 また、関西万博への出演やコナン・ミステリーツアーのお楽しみポイントとなったことから、入館者が大きく増加した。今後も引き続き情報発信を行うと同時に集客に繋がるイベントの開催等により、三朝バイオリン美術館の認知度を高め、集客に努めていただきたい。

3. 自主事業の実施状況（具体的な取り組み）について

指定管理者	第11期前期は、当館がJR西日本の名探偵コナンミステリーツアーのチェックポイントになった影響もあり順調に増加している。また、関西万博の鳥取県フェスにバイオリン演奏で出演し、多くの方に当館を知っていただける機会となった。夏休み期間に実施した、鳥取ヴァイオリン製作学校のサマースクールでは、全国より参加申込をいただき、当初の高校生向けサマースクール（7名）に追加で小学生のサマースクール（親子5組）を実施した。受付部門ではドリンク付きのバイオリン試奏体験が引き続き人気である。また演奏部門では毎月固定のコンサートイベントを引き続き実施している。昨年度より実施している「大人のバイオリン教室」の受講者も2名増え現在7名、岡山県や鳥取県・西部からも通ってくださっている。地域との連携としては、商工会主催の「三朝まちゼミ」へ参加し、2回のまちゼミでは定員の12名が参加し、アンケート結果も良好だった。製作部門では鳥取県、島根県東部の部活で楽器を使用している中学校・高校の楽器を調整、修理しており、これから出店する関西弦楽器製作者協会の展示会へ向けての楽器製作等行なっている。また令和8年度より、よりバイオリン試奏体験を当館の体験プログラムの目玉にするため、リニューアルへ向けての準備を行なっている。
施設所管課	製作・学校部門では、製作学校への入学者の獲得、そして中学・高校の部活動への楽器メンテナンスといったことから、確実に収益を伸ばしており、演奏・展示部門では、バイオリン美術館がコナンミステリーツアーのお楽しみポイントとなったことから入館者数は好調に伸びており、また、関西万博でのPR、まちゼミへの参加等により、多くの方に三朝バイオリン美術館を知っていただける機会が得られている。 今後、好評を得ているドリンク付きバイオリン試奏体験といったプランの情報発信を更に工夫するなどし、事業収入増加に向けた取組みに期待したい。

4. 総括評価

B	指定管理者	第1に、音楽で三朝に文化を生み出すこと。第2に、観光の名所として三朝へ訪れる人たちを増やすこと。第3に、楽器製作を通して人材を育成すること。日本で唯一無二のこの環境をどう生かすか、どう磨くは徹底しなければならぬテーマである。「音楽で喜びを広げる」という美術館の理念を元に製作部門、演奏部門、美術館部門の柱を成長させていきたい。そして管理において経営、教育、文化芸術振興、のどれも欠く事なく継続していくことが当館の魅力に繋がり、また三朝町の誇れる文化施設になり得ると信じている。今後も様々な角度から三朝バイオリン美術館の存在意義・想いを伝えていきたい。また鳥取ヴァイオリン製作学校の生徒が成長し活躍につながっていくかも重要である。引き続き生徒数20名を目指して認知度を上げていきたいと考える。学校強化について新しい予算案が作れないかは相談したいところである。今後も三朝町、商工会、観光協会など地域との連携をさらに図りながら、三朝町民に親しまれる三朝バイオリン美術館にしていきたい。文化が豊かな街となり、人が豊かになること目指していく。音楽は人を豊かにする力がある。
	施設所管課	経営理念に則り特色ある事業を展開されている。製作・学校部門では、中学・高校の部活動の楽器メンテナンスにより、安定的な経営に繋げるべく努力されている。また、今年度製作学校へ入学された生徒の増加から大きく増収となっていることから、今後も生徒の獲得に努めていただきたい。 演奏・展示部門では、ミステリーツアーの入館者数は好調であり、大人のバイオリン教室の生徒も増えている。ドリンク付きバイオリン試奏体験のプランが好評なことから、更なる情報発信により、事業収入を増加させるべく集客に努めていただきたい。

5. その他特記事項（※施設担当課記載欄）

特に評価される点	・弦楽器という限定された世界の中、経営理念に則り特色ある事業を展開されている。 ・ミステリーツアーのお楽しみポイントの設置や、大阪・関西万博でのPR等、施設の認知度向上、集客獲得に努めている。
改善が望まれる点	・館内の照明については、町・専門業者と協議のうえLED化に向けた検討を進めていただきたい。 ・美術館での定期的な演奏会には固定客がある一方、まだ集客の余地があると思われるので更なる情報発信に努めていただきたい。

評価基準

(1) 項目別評価

A	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
B	求める管理水準が適切に実施されている
C	求める管理水準に概ね沿った内容ではあるが、一部に課題がある
D	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
E	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がされている

(2) 総括評価

A	項目別評価が全て B 以上（適切等）であり、かつ A が 70% 以上である
B	項目別評価が全て C 以上であり、かつ B 以上が 70% 以上である<A 以外>
C	項目別評価が全て C 以上である<A 及び B 以外>
D	項目別評価に D が含まれている
E	項目別評価に E が含まれている